

1 単元名 5 小説 「こころ」 夏目漱石(教科書…「新編現代文」三省堂)

2 単元目標

《情意面》(向上目標)

- ① 作者の人間観を読み取ることによって、現代に共通するもの、また、明治時代独特のものを見方を理解しようとする。
- ② 作品に表れた文学観を理解することによって、自分のものの感じ方、考え方の幅を広げようとする。

《知識・理解、技能面》(達成目標)

- ① 語彙に注意しながら、正確に内容を読み取ることができるようになる。
- ② 作品に表れた作者の思想の特徴について考えを出し合い、現代の視点との差異をつかむことができるようになる。
- ③ 明治の文学についての理解と当時の知識人の生き方について考えることができるようになる。

3 単元設定の意図

《生徒観》

生徒は「国語総合」で「羅生門」、1学期の「現代文」で「山月記」と短編ではあるが、本格的な小説には触れている。しかし理解度については生徒の個人差が大きく、指導にも工夫を要することがあった。一方、小説に対する関心は意外と高く、読解に関する質問や、作品の時代背景に関する質問がしばしば見られ、それぞれに興味を持っているようである。文学観、世界観について、現代とは異なる作者の考え方に接することで、生徒の興味・関心がより大きく広がることを期待したい。

《教材観》

夏目漱石の作品の中で特に有名で、教科書にも採録されることが多く、高校生が接する近代小説でも特別なものであるといえる。明治の知識人の苦悩を通し、我執、自己否定に到達した人間像、同時代の文明を批判したもので、その洞察力表現力は非常に評価が高い。生徒にとって語彙、文体になじみは少なく、難解に思えるかもしれないが、現代人とは違う考え方を知ること、自分の思考の幅が広がるものと考えられる。

《指導観》

鋭い批評眼と深い思索に基づく、人間観を表現した文章を通して、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、各自の人生を築くための糧としていけるよう、読む力を養っていききたい。また読み取った内容について、生徒同士の意見の交換を通して、生徒の考察をより深めていきたい。

4 学習指導計画（指導と評価の計画）〔全12時間扱い〕

第一次 教科書採録部分以前の文章全体の構成や内容の概要を指導プリントにより把握する。……4時間

- 第1時 プリント1ページの読解
- 第2時 プリント2ページの読解
- 第3時 プリント3ページの読解
- 第4時 プリント4ページの読解

第二次 教科書採録部分の構成や内容を把握する。……8時間

- 第5時 第1段の読解①
- 第6時 第1段の読解②
- 第7時 第2段の読解①
- 第8時 第2段の読解②
- 第9時 第3段の読解①
- 第10時 第3段の読解② ……本時
- 第11時 「こころ」という作品について（まとめ）①
- 第12時 「こころ」という作品について（まとめ）②

5 本時案

(1) 主眼・ねらい

- ・ 作者の人間観、明治時代の文学観について関心を持ち、その思想を読解し、自分の考え方に生かそうとする。(国語への関心、意欲、態度)
- ・ 他の生徒の意見を聞いたりすることで、文章の内容についての理解を深めることができるようになる。(読む能力)

(2) 学習過程

| 学習内容・学習活動 | 予想される生徒の反応 | 教師の支援 |
|--|-------------------|--------------|
| 近代の文章を参考に作者の考え方と、現代との差異を比較、理解し、生き方について自分の考えを深める。 | | |
| 1 学習活動のねらい及び学習の進め方について理解する。 ・ 本時の授業の目標と進 | ・ 本時の目標がわかることにより、 | ・ 板書により説明する。 |

| | | |
|--|--|--|
| め方の説明を聞く。 | 授業において何が重視されるのかわかる。 | |
| <p>2 p111下111～p112下16を理解する。</p> <p>(1) 指名により音読する。</p> <p>(2) 教師の発問に答える。</p> | <p>・語句の読みを確認しながら聞き、意味もわかる。</p> <p>・「K」の自殺の前の行動、心情がわかる。</p> | <p>・板書により説明する。</p> |
| <p>3 p112下18～p114下115を理解する。「Kの自殺の原因」についての考えを書く。</p> <p>(1) 4人程度の班を作る。</p> <p>(2) それぞれの書いたものを班内で交換して読む。</p> <p>(3) 班の中で意見をまとめる。</p> | <p>・席の近い生徒同士、机を寄せ合う。</p> <p>・他の生徒の考え方に驚きをもって接している。</p> <p>・うまくまとめられない班がある。</p> | <p>・感心したところに線を引くように言う。</p> <p>・線が引かれてあるところを中心にまとめるように促す。(観察：話し合いへの参加の態度)</p> |
| <p>4 「Kの自殺の原因」について意見を出し合う。</p> <p>(1) 班ごとにまとめた文章の要旨を代表者が黒板に書いて発表する。</p> <p>(2) それぞれの班で、各班に対する批評を考える。</p> <p>(3) 各班、批評を発表する。</p> | <p>・他の班と自分たちの班の意見の違いに気づき、おもしろく思っている。</p> <p>・板書が冗長になり、簡潔性を欠いている班がある。</p> <p>・意見のまとまらない班がある。</p> <p>・発表の長い班がある。</p> | <p>・簡潔に書き、書き足りないところは発表で補うように指示する。</p> <p>・代表者が進行役になり、班の意見をまとめるように言う。(観察：話し合いへの参加の態度)</p> <p>・簡潔に話すように指示する。</p> |

| | | |
|--|---------------------------------|--|
| <p>5 まとめ</p> <p>(1) 下五十三の章のプリントを見る。</p> <p>(2) 教師の講評を聞く。</p> <p>(3) 次時の学習内容の予告を聞く。</p> | <p>・ Kの自殺の原因を「私」がどう考えたかわかる。</p> | |
|--|---------------------------------|--|

(3) 本時の評価

- ・ 作者の人間観をとらえ、さらに自分の意見を持つようとしている。
(国語への関心、意欲、態度)
- ・ 文章を読み、また他の生徒の意見も参考にしながら、内容の理解を深めている。
(読む能力)
- ・ 語句の意味、用法などを理解している。
(言語事項)